

女性のつながりサポート事業【大阪市】

総事業費	18,374 千円
交付金額	11,250 千円

地域の実情と課題

女性は、貧困などの生活上の困難な状況に陥りやすい傾向にあり、より深刻な状況をもたらしている。

女性の雇用者に占める非正規雇用の割合は、令和元年では大阪府、全国ともに6割弱にのぼり、男性の同じく2割強と比べると格段に高くなっている。

事業の特徴

- ・SNSの活用を含めたアウトリーチ
外出や支援窓口などへのアクセスが難しい状況にあり、行政の支援にたどりついていない女性に対し、SNSを活用し、支援や相談窓口の情報を積極的に届ける。
- ・相談者を社会資源や支援とつなげる伴走的支援
困難の背景には、複合的な課題や様々な要因が絡まっている傾向があることから、困難の背景にある問題を丁寧に聞き取り、信頼関係を構築し、課題を整理しながら適切な支援・制度につなげる。

事業の効果

- ・LINE相談の3月末時点の友だち登録件数は1,424件、相談件数は1日あたり平均10.3件、累計1,081件
- ・相談を受けようと思った理由として、「LINEなら相談できるかもしれないと思った」という回答53.5% ⇒LINE相談に一定のニーズあり
- ・相談者に実施するアンケートにおいて、「相談して良かった」と回答した割合 79.4% ⇒高い満足度

目的・目標

就業面から生活面にわたって困難・課題を抱える女性の問題が顕在化していることから、社会とのつながりの回復に向けた支援を行うため、SNS相談業務を行うとともに、アウトリーチ支援・ピアサポート支援・専門相談支援等によるこれまで行政の相談につなげていなかった女性に対する支援につなげる。

《目標》
相談者アンケート「前向きな気持ちになれた」割合 70%

連携団体

学校(大学・短期大学・専修学校)
社会福祉協議会
ひとり親家庭等就業・自立支援センター
こども食堂
フードパントリー
民間シェルター等
※アウトリーチ支援にかかる連携団体

今後の課題

つながりの希薄な女性を支援につなげ、孤独・孤立の軽減をめざすために、引き続き、各種の相談・支援等の情報へのアクセス機会の更なる向上、自らSOSを出せない女性が利用しやすい工夫、的確な実態把握と分析を反映した信頼関係の形成を図る必要がある。

事業の概要

1実施期

令和4年4月1日～令和5年3月31日

2実施事業者

一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会

3実施概要

(1) SNSを活用した相談事業『大阪市つながりサポートLINE相談』

実施期間：令和4年4月1日（金）～令和5年3月31日（金） 全105回

* 令和5年1月1日（日）を除く。

毎週水曜日の14時～20時と日曜日10時～16時

▶友だち登録者数：1,424件

▶相談件数：1,081件

(2) 生理用品の提供

相談を端緒とし、相談支援充実の一環としての生理用品の提供

▶提供物

生理用品（28個入）10,000パック

配布関連品 紙袋・相談窓口案内リーフレット

▶提供場所

大阪市役所・区役所（生活困窮者自立支援窓口）
 大阪市男女共同参画センター・子ども子育てプラザ
 大阪マザーズハローワーク・フードパントリー
 大阪国際交流センター・大阪市内の高等学校・大学
 こども食堂・民間シェルター 等

(3) ピアサポート支援事業

パステルアート作品を作成しながら話ができる居場所の提供
 全6回開催 参加者21名

(4) 専門相談

LINEで法律相談・からだの相談を実施

法律相談 全2回 23件 からだの相談 全2回 21件

相談案内ポスター

大阪府 令和4年度大阪府女性のつながりサポート事業

LINE 大阪市女性のつながりサポート LINE相談

悩みやお困りごとをひとりで抱え込んでいませんか？
ひとりで悩まず、お気軽にご相談ください。

相談日時 毎週水曜日 14時～20時
毎週日曜日 10時～16時
※半年年始（12月29日～1月3日）は除く

対象 大阪市内在住・在勤・在学の女性

*つながりサポートサロン
同じ悩みを抱える女性が、安心して悩みや不安について話し合えるサロン活動のグループワークです。
参加費無料で、途中参加も途中退席もOK。お気軽にご相談ください。

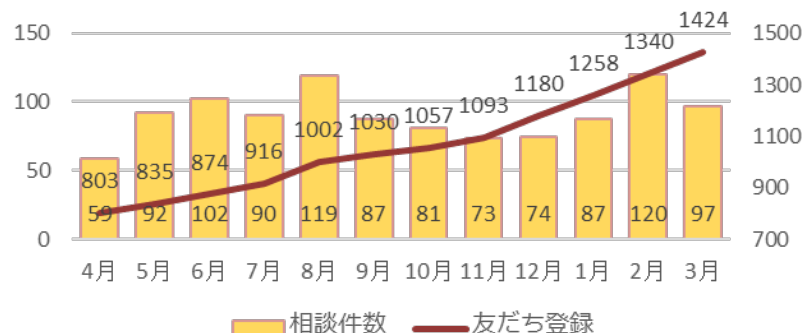
*法律相談・ここからだの専門相談（LINE相談）
弁護士による法的なアドバイスを受けられる法律相談。
医師や看護師による医師的アドバイスを受けられるところから15の専門相談までLINEで実施します。
詳しくは、ホームページをご覧ください。

さまざまなご事情で
生理用品の入手が困難な方へ、
生理用品を無料でお渡しします。

【お渡ししている場所】
高松区自立相談支援窓口等
大阪市男女共同参画センター
グレイ大阪女性総合相談センター
など
※働くお母さん、育児のみならず、
働くお父さんにもご利用いただけます。

主催：大阪市 実施主体：一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会

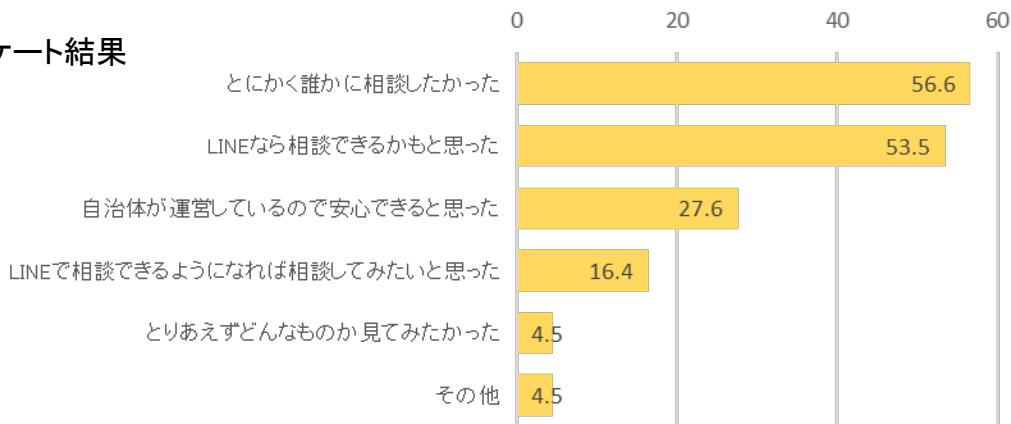
相談件数・友だち登録件数



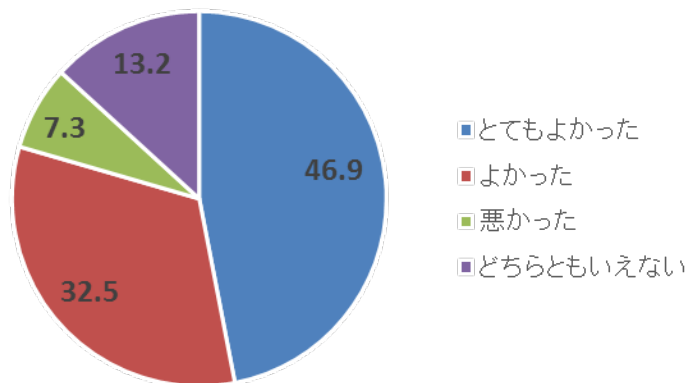
4 大阪市つながりサポートLINE相談』終了時アンケート結果

① 相談を受けようと思った理由

相談を受けようと思った理由として最も多かったのが、「とにかく誰かに相談したかった」(56.6%)で、「LINEなら相談できるかもと思った」(53.5%)と続いている。誰にも相談できなかったが、LINE相談だったからこそ相談できたことが伺える。



② 相談の満足度



③ 相談を受けて前向きな気持ちになったか

